

海外安全対策情報 平成26年度第1四半期

1. 社会・治安情勢

(1) 4月4日、タラス州バカイ・アタでカザフスタン企業の金鉱山の操業停止を求めて地元住民が道路を封鎖したが、5日夕方には解決した。

(2) 4月10日ビシュケク市、ジャララバード市、オシュ市において野党による小規模な抗議集会が開催されたが、混乱等は無く終了した。

(3) 4月21日、バトケン州内務局はクズル・キヤ市で宗教過激主義「ヒズブ・タフリール」(解放党)のメンバー6人を拘束したと発表した。

(4) 5月5日、ビシュケク市フルンゼ博物館前で政府に対して住宅政策の解決を要求する50名規模のデモが発生した。

(5) 5月5日、ビシュケク市アラトー広場で言論の自由を主張するデモが発生。

(6) 5月7日、バトケン州バトケン地区でキルギス市民とタジキスタン市民の間で国境紛争が発生したが、5月9日までに事態は沈静化した。

(7) 6月17日、トクモク市で市長の辞任を求める程30人の集会が行われた。

(8) 6月17日、ビシュケク市ピエルヴォマイスキー地区でヒズブ・タフリールのメンバーが拘束されたと発表した。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

殺人、強盗等の凶悪事件が散見される他、空き巣、公共交通機関やバザールでのスリ、置き引き等の窃盗事件が日常的に発生している。日本人は、路上強盗、窃盗、また官憲による賄賂の要求等に特に注意を要する。

(1) 殺人・強盗等、凶悪犯罪の一例

ア 5月8日深夜、トクモク市内シャムシンスカヤ通りにおいて男性が銃撃され殺害された。現在警察が捜査中であるが、被疑者については未だ検挙されていない。

イ 5月19日、ビシュケク市マイクロライオン地区において身元不明の遺体が発見された。警察が現在捜査中である。

ウ 5月30日午後2時頃、トクモク市内において内務省職員が銃撃され、2人が負傷した。警察は捜査中であるが、被疑者は未だ検挙されていない。

(2) 邦人被害

認知していない。

3. テロ・爆弾事件発生状況

(1) テロ事件

認知していない。

(2) 爆弾事件

認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

(1) 誘拐・脅迫犯罪の一例

ア 4月28日、カザフ人男性が2人の男に誘拐され、身代金として30,000米ドルを要求された。5月1日、警察によって被疑者は検挙された。

イ 5月1日、ジャララバード州において男性が2人の男に誘拐され、身代金として100,000米ドルを要求された。5月9日、警察によって被疑者は検挙された。

(2) 邦人被害

認知していない。

5. 日本企業の安全に関する諸問題

キルギスでは、1999年8月に南部バトケン州において、邦人4名等が過激派武装勢力により誘拐されており、注意を要する。(了)